消費者が求める食品の安全・安心の仕組み

安全安心確保システム:松食

(1) 一貫した安全確保と改善 事業者の自主管理及び行政の監視指導

高品質で安全な食品を提供する仕組み・協働

(2) トレーサビリティー

誠実・正直さを証明できるシステム

嘘がばれる、消費者の信頼に直結する仕組み

(3) リスクコミュニケーション

関係者が協働して更に安全確保に取り組んでいる

顧客本位、消費者本位の仕組み

情報公開・公表

松阪牛の安全とは?

科学的根拠に基づく客観的評価

- (1)事業者・消費者の自主管理生産・と畜・カット・販売・消費の衛生管理安全な飼料(肉骨粉不使用)
- (2) 法に基づく検査: 松阪食肉衛生検査所、ISO9001
- ・と畜場法 ⇒ 全頭検査と疾病排除、衛生管理
 - *BSE全頭検查*特定危険部位除去
 - *と畜解体の改善
- ・食品衛生法 ⇒ 農薬、医薬品残留検査
- (3) 国際基準

WTO (CODEX), OIE

松阪牛の安心とは?

信頼に基づく主観的評価

信頼関係構築の仕組み

- ※消費者個々の判断 ⇔ 全てのプロセスが対象 高品質牛肉の最高ブランドとして厳しい眼が前提
 - (1)情報提供・公開
 - ⇒ ホームページ(松阪牛の紹介、安全情報) 食肉センターのと畜プロセス公開と見学
 - (2) トレーサビリティー
 - → 松阪牛個体識別管理システム

(消費者が生産履歴を遡って情報が得られる、偽装を許さないシステム)

- (3) リスクコミュニケーション
 - ⇒ 松阪肉牛共進会の市民公開型開催 見学者(説明、食育、意見交換)